山口県優良建設工事におけるこれまでの取組事例

番号	項目	取組事例
1	工程管理	同一現場内で同時期に工事を行い、施工範囲が輻輳する他工事との工程調整に主体的、積極的に取組み、トラブルなく工期内に工事を完成させた。
2	工程管理	地域住民に工事概要・状況等を説明したり、行政手続きが必要なものについて早めの協議を行うなど、地元や関係機関との調整に主体的、積極的に取組み、トラブルなく工期内に工事を完成させた。
3	安全対策	交通量の多い道路上の施工であり、資材の搬入出等により交通規制を行う際には、夜間施工を行うなどの時間制限を設けるとともに誘導員を配置し、安全で円滑な通行に努めた。
4	安全対策	離島架橋中央部の伸縮装置取替工事において、既設構造物撤去時の構造物落下防止のため、橋梁点検車を使用して安全対策に配慮するとともに、万が一に備え監視員を配置し船の通行を監視するなど安全で円滑な施工に努めた。
5	安全対策	学校敷地内の工事で生徒・職員の安全確保はもとより授業等への配慮が必要な工事であったため、施設管理者や各工種間の調整を的確に行うとともに、安全エリアの確保や工事の順序・工程や動線確保を工夫するなど、学校生活への影響を最小限に抑え、事故なく円滑に工事を完成させた。
6	工事特性	人家や道路に近接した箇所で変状が発生し、その対策を行う工事であり、緊急的に工事を行い無事完成させた。
7	工事特性	離島やアクセス道路が狭隘であることなど、施工に厳しい制約がある中、資機材の進入調整や渡船を確保するなど、綿密な施工計画を策定し工期内に工事を完成させた。
8	工事特性	急峻な地形直下で命綱を使用する工事であったが、安全対策に特に注意を払い、事故なく工期内に工事を完成させた。
9	工事特性	急峻な地形で落石等表層崩壊等の危険性のある工事箇所における地山補強土壁工（坂巻き施工）に際し、土木技術作業員の技術力向上を図る現地講習会を実施し安全教育に努め無事に工事を完成させた。

番号	項目	取組事例
10	工事特性	施工箇所は、官公庁や商業施設等が密集し、バス停も立地する場所であるため、複数の関係機関等と入念に調整を行った上で、沿道商業施設への出入り口の明示などのトラブル対策も積極的に行い、円滑に工事を完成させた。
11	工事特性	交通量が１万台/日以上と非常に多く、夜間作業という時間制約がある中、信号機移設業者・電力会社・桁架設業者など複数の関連業者との綿密な調整を行い、交差点切替を複数ステップ実施し、事故もなく、工期内に工事を完成させた。
12	工事特性	施工箇所は人口集中地区における夜間工事であったが、超低騒音機械等を使用することで、地域住民へ配慮しながら施工し、大きな苦情やトラブルは発生せず、円滑に工事を完成させた。
13	創意工夫	地域住民に対して、通行規制を余儀なくされる現場において、コンクリート二次製品を利用することにより施工期間を短縮させ、通行規制期間も短くすることにより、利用(通行)者の利便性を向上させた。
14	創意工夫	３次元の起工測量・設計データ作成・施工管理・データ納品やICT建機による施工を実施するなど、ＩＣＴ施工技術を活用し、建設現場の生産性向上に取組んだ。
15	創意工夫	情報共有システムを活用するとともに、遠隔臨場やデジタル工事写真の小黒板情報電子化等を実施するなど、建設ＤＸの活用を図った。
16	創意工夫	コンクリート品質確保ガイドの適用範囲であるコンクリート構造物の施工において、県が推奨する温度履歴計測などを実施し、耐久性を向上させるための品質確保に取組んだ。
17	創意工夫	地元の学生を対象とした職場体験やインターンシップの受入れなど、将来の建設業を支える担い手確保に積極的に取組んだ。
18	創意工夫	より高性能の仮設や機械を採用し、より良い作業環境を創出することで、作業効率の向上と円滑で安全な施工に努めた。
19	創意工夫	強風下での施工であり、また、鉄道や県道等に近接する現場であったが、資材等の飛散防止に努め、円滑で安全な施工に努めた。

番号	項目	取組事例
20	創意工夫	水中ドローンや現場監視カメラなど、高性能な機械を活用し、円滑で安全な施工に努めた。
21	創意工夫	高性能な資材を採用し、品質の確保や工期の短縮などに努めた。
22	創意工夫	若手技術者のサポート体制を確立し、若手技術者の育成と建設業の担い手確保に向けた取組を行った。
23	創意工夫	教室を使用しながらの工事となることから、生徒を含む学校関係者の安全と円滑な施設利用を最優先に、安全通路の養生、工事の進捗に応じた作業範囲区画の掲示等、学校関係者とも綿密に調整しながら安全に工事を完成させた。
24	創意工夫	河川環境への影響が懸念されることから、工事期間中に水質検査を実施し、河川環境の保全に万全を期した。
25	創意工夫	現場での施工方法を工夫し、品質の確保や工期の短縮などに努めた。
26	地域貢献	地域住民に対し、広報紙の配布や現場見学会を開催するなど、公共工事への理解と協力を得るため積極的に活動した。
27	地域貢献	工事現場周辺の道路において、大雨による土砂流出が発生し立往生車両を見つけた際、現場の重機を使用し、早期に土砂撤去を行い、車両を救出した。
28	地域貢献	ホームページやＳＮＳ、現場の看板にＱＲコードを掲示するなど、工事状況やう回路情報などを発信することで周辺住民や道路利用者等へ幅広く周知することができ、道路交通の安全性に寄与するとともに、土木工事のPRにも繋げた。